

令和4年度 事業報告書

	ページ
令和4年度事業報告書	1
別表 1 令和4年度年間健診検査等実施数	10
別表 2 令和4年度調達機器等一覧	11

令和4年度事業報告書

概 観

本年度は、徹底した感染症対策を継続し安心・安全な健康診断の提供に努めながら、新規団体の獲得や追加項目の実施の働きかけを行うなど、令和元年度並みの事業収入の回復を目指して事業運営を進めてまいりました。母子保健分野では拡大新生児マススクリーニング検査の開始によって収入増となりましたが、産業保健分野では、在宅勤務等の勤務体系の変容、大手団体の自社での健診実施や欠落などの要因による減収があり、最終的に目標とする収入額には届きませんでした。

この厳しい環境の中にあって、IT戦略を中核とした第8グリーン・プラン（中期計画）に対する取組みを進め、業務遂行過程の改革や全体システムの最適化、新規事業の構築を図り、事業の拡大と運営の安定化に努めました。

協会事業の運営と成長の基盤となる人材の確保と育成については、管理職教育や人事評価制度の見直し、事務系職員の継続的採用を進めております。「持続可能な社会」の実現に向けては、SDGs、脱炭素などの社会的課題の解決に向けた取組みを推進しております。

各事業において発生しうるミスを未然に防ぐ取組みとして、内部監査システムの運用、ヒヤリハット報告活動を継続しております。

新型コロナウイルスワクチン接種事業については、組換えタンパクワクチンを含めた市民接種や中小企業を対象とした金沢区鳥浜地区での職域接種を実施し、社会的要請に応えるとともに事業収入の確保に努めました。

I 健診・検査及び予防医療事業

事業収入の回復・拡大を目指し、各分野において予防医学活動を展開しました。事業戦略を立て、企画提案を基本とした渉外活動を推進しました。

1 地域保健分野

がん検診については、感染症対策のため受診申込者の定員を絞る状況は緩和されましたが、受診者数は令和元年度並みの回復までには至っておりません。令和3年10月のがん検診の指針の一部改正に対応すべく、がん検診の利益・不利益等が記載された受診者向け文書の整備を進めており、乳がん検診については配付を開始いたしました。

2 産業保健分野

渉外方針、渉外戦略を設定し巡回健診、施設健診等事業の拡大を目指しました。労働衛生にかかわる各種団体や産業医科大学などと連携強化を図り、総合健康支援機関としての協会の認知度、ブランド力の向上を目指し、事業の拡大と運営の安定化を目指しました。

3 学校保健分野

学校保健では、行政、医師会、養護教諭部会、大学病院などの関係機関・団体で構成される各種の検診システムに参画し運営の充実に協力しました。

市町村教育委員会から委託を受けた腎臓病・糖尿病検診、心臓病検診については、感染防止に努め、当初の予定どおり事業を完了いたしました。

4 母子保健分野

母子保健では、新生児を対象としたマススクリーニング検査の安定した事業運営に努めました。また、令和4年度より、神奈川県医師会の指導のもとに、重症複合免疫不全症（SCID）及び脊髄性筋萎縮症（SMA）を対象とした有償の拡大スクリーニング検査（任意）を開始し、全出生児のうち約4割の児に検査を実施しました。

5 環境保健分野

作業環境測定では、労働安全衛生法の改正に伴う溶接ヒューム中のマンガン濃度測定等の渉外を推進し、事業収入の拡大を図りました。また、令和5年度からマスクフィットテストが義務化されることから、新規サービスの提供を目指して事業の拡大に取り組みました。

II 事業計画

事業収入確保と採算性の向上を図ることで運営の安定化を目指していました。各部署が専門性を活かした取組みを検討し、実現に向け推進しました。

1 健診等事業拡大に向けての対応

アクティブ・エイジング事業（高年齢労働者に対する健康支援）の一環として個人の方を対象に都市型社会人学校をモデル実施としてスタートしました。

次年度に向けLINKAI横浜金沢地区中小企業に対する総合健康支援サービスの充実を目指します。

2 中央診療所機能の有効活用

特定保健指導の健診当日面談を拡大し、生活習慣の改善サポートを行いました。オンラインによる面談の実施やメールによる指導の構築も行いました。

総合健診支援機関として、健診の結果に応じた事後フォローや医療連携による他機関紹介も行いました。

3 効率的な実施体制の確立

効率化を推進する手段であるデジタルトランスフォーメーションは、RPAの活用、遠隔での保健指導業務を支援するWeb会議、クラウドサービスの利用拡大など、従来の手段にとらわれない業務手順を確立することができました。

4 がん対策の推進、普及啓発活動

国の第3期がん対策推進基本計画、神奈川県のがん対策推進計画に基づき、国、県、市町村やその関連会議と連携を強化し、がん対策に協力致しました。

次年度は1次・2次検診受診率向上を目指します。

5 広報活動の充実

公益法人として、県民の健康増進に寄与するために広報活動を行いました。また、広報誌等のデジタル化を行い、ホームページ用動画コンテンツを作成しました。時代のニーズに合わせたSNSやメールマガジン配信の準備を行いました。

Ⅲ 運営管理計画

法令を遵守し、公益法人としての社会的信頼性の担保された事業運営を進め、協会の理念・使命を果たすことを第一として、事業を推進しました。

1 人材の確保、育成

協会理念を理解し、事業運営に力を尽くせる職員の育成に努めました。研修・教育を継続的に行い、実践を評価し、職員のモチベーションのアップにつながる評価制度の構築を始めました。また、有期雇用者からの積極的な職員登用、中途採用者の計画的増員等により、高齢化に傾いた人員構成の改善を目指しました。

2 効率的な業務遂行

業務の標準化、標準作業書の整備をさらにすすめ、事務作業のIT化ツールを各部署で活用し、作業の省力化、効率化を推進しました。顧客の健診実施体制や事業構造の変化により求められる新たな健康診断の形に対応し、適切なサービスの提供を迅速に行える体制作りを進めました。

3 機器及び施設の整備

コロナ禍の影響や、ウクライナ戦争長期化等の社会情勢の変化に伴い、機器・設備の確保の困難、資材費の高騰などこれまでにない対応が求められました。計画的な機器の運用・更新計画を作成し、安定した事業運営を目指しました。併せて、効率化に資する機器、システムの導入を積極的に行い、協会全体で共有、活用することを推進しました。

4 品質保証と信頼性の向上

ミス発生防止対策として運用している内部監査システムは、今年度も全部署を対象に監査を行う取組みを継続しています。また、これまでのヒヤリハット報告の仕組みを改め、ヒヤリハット事例を共有しミスの発生を未然に防ぐという意識を全職員に浸透させる取組みを行っています。

IV 健診等実施計画

質が高く、信頼性の高い受診者サービスの向上につながる健診スタイルの構築を推進し、選ばれる総合健康支援機関を目指しました。

1 受診者サービスの向上

安心・安全な医療の提供と受診者満足度向上を目指し、医師と協力し健診スタッフの教育研修を強化しました。またICTの活用により、待ち時間の短縮、混雑緩和を図りました。受診者のご意見やご要望に向き合い、改善や対応を行いました。

2 信頼性の高い健診実施体制の確立

IT推進チームや3Dマンモグラフィプロジェクトなど関連部署による横断的活動を強化し、健診実施体制の改善を図りました。また、Web会議や情報共有ツールを活用した業務効率化により、継続的な信頼性の充実に目指しました。

3 質の高い結果報告の提供

RPAの活用により安定した報告処理態勢の構築及び結果納期短縮や正確な報告書の提供に取り組みました。QRコードを活用した情報提供により顧客ニーズに適した報告書の提供は進み、Webによる結果閲覧の仕組みは継続検討します。

4 新たな健診スタイルの提供

ICTを用いた健診実施体制が定着し、アナログからデジタルへと進展することが出来ました。また、画像検査ではフィルムレス化による画像共有・連携が進み、紙による健診結果報告も徐々にではあるがデジタル化に向けて進み始めています。

V 調査・研究の推進

日常業務の中で課題をとりあげ、健診・検査などに関する調査・研究を18のテーマについて実施しました。

令和5年度に継続し検討いたします。

VI 評議員会・理事会の開催

1 評議員会

- | | |
|--------------------|--|
| 臨時評議員会（令和4年4月11日） | 令和3年度事業遂行見込・収支決算見込、令和4年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込、外部認証の取得と事業の拡大に関する報告
(定款第20条報告の省略) |
| 定時評議員会（令和4年6月9日） | 令和3年度事業報告・収支決算の承認、任期満了による理事・監事の選任、評議員候補者の推薦顧問の委嘱、任期満了等による専門委員の委嘱の報告、評議員選定委員会の開催予定と結果報告 |
| 臨時評議員会（令和4年6月21日） | 理事長の選定、専務理事・常務理事の選定及び担当する業務部門の決定及び事務局長任命の報告
(定款第20条報告の省略) |
| 臨時評議員会（令和4年7月20日） | 評議員選定委員会の選任結果の報告
(定款第20条報告の省略) |
| 臨時評議員会（令和4年12月16日） | 令和4年度事業遂行状況・予算執行状況の報告、理事長の専決処理事項の報告、ミス発生防止を目的とした内部監査システムの進捗状況の報告
(定款第20条決議及び報告の省略) |

2 理事会

- | | |
|-------------------|---|
| 第1回理事会（令和4年5月25日） | 令和3年度事業報告・収支決算の確定、評議員候補者の推薦、定時評議員会の招集及び提出議案の決定、臨時理事会の決議事項と臨時評議員 |
|-------------------|---|

	会への報告、顧問の推薦、任期満了等による専門委員の推薦、評議員選定委員会の開催予定と結果報告
臨時理事会（令和4年6月9日）	理事長の選定、専務理事・常務理事の選定及び担当する業務部門の決定及び事務局長任命の承認、 (定款第35条決議の省略)
第2回理事会(令和4年11月29日)	令和4年度事業遂行状況・予算執行状況の承認、臨時評議員会への報告事項の承認 理事長の専決処理事項の報告、ミス発生防止を目的とした内部監査システムの進捗状況の報告
第3回理事会(令和5年3月22日)	令和4年度事業遂行見込・収支決算見込の確定、令和5年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込の承認、臨時評議員会への報告事項の承認 新拠点に関する検討の報告

VII 役員等の異動

1 顧問

令和4年5月就任 夏目 久也 横須賀市健康部長(前任者 森田 佳重氏)

2 評議員

令和4年7月就任 秋野奈緒子 横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課長
出石 珠美 横須賀市民生局健康部健康管理支援課長
多屋 馨子 神奈川県衛生研究所所長
東 敏昭 学校法人産業医科大学前学長・顧問・名誉教授

古瀬 純司 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立がんセンター総長

令和4年7月辞任 高崎 智彦 前神奈川県衛生研究所所長
長谷川 淳 横須賀市保健所企画課長
羽田 政直 横浜市港南区福祉保健センター担当部長

3 理事

(1) 代表理事

令和4年6月 再任 根本 克幸 協会理事長

(2) 専務理事

令和4年6月 再任 北見 護 協会事務局長・事業局長

(3) 常務理事

令和4年6月 再任 大崎 逸朗 協会集団検診センター所長
小林 理 協会中央診療所長

(4) 理事

令和4年6月 再任 雨宮 徹 協会事業局次長・業務部長
石野 順子 協会中央診療所消化器検診部長
江口 尚 学校法人産業医科大学教授
産業生態科学研究所産業精神保健学
研究室
岡部 英男 協会健康創造室長
嘉代佐知子 横浜市健康福祉局健康安全部
健康推進担当部長
菊池美也子 協会中央診療所副所長・精密総合健
診部長
久布白兼行 公益財団法人東京都予防医学協会
理事長
小坂橋 靖 学校法人聖マリアンナ医科大学
名誉教授
新保 文樹 協会事業局次長・企画部長
仲村 準 株式会社ブリヂストン横浜健康管
理センター所長
南部 直子 協会事務局長次長・集団検診センタ
一副所長・総務部長
令和4年6月 就任 土井 卓子 医療法人湘和会湘南記念病院
乳がんセンター長

渡辺 哲 独立行政法人労働者健康安全機構
神奈川産業保健総合推進センター
所長

4 監事

令和4年6月 再任 牧野 孝一 横浜信用金庫顧問

5 専門委員

令和4年5月 再任 栗原 博 協会元事業局担当理事

森 雄一 協会元常務理事

山上 祐次 協会前臨床検査部長

令和4年5月 就任 井出 研 協会前中央診療所長

櫻林郁之介 公益財団法人予防医学事業中央会会長

自治医科大学名誉教授

渡邊眞一郎 元神奈川県精度管理専門委員・元精度
管理専門委員・元藤沢市精度管理専門委
員

別表 1

令和4年度 年間健診検査等実施数

(単位：件)

健診検査等項目		当初目標数	実施数	増 減	(%)
地域・産業・業保健	1 胃 検 診 X 線 撮 影	54,100	55,307	1,207	102.2%
	2 胃 検 診 内 視 鏡 検 査	5,000	5,473	473	109.5%
	3 大 腸 が ん 検 診	87,000	88,533	1,533	101.8%
	4 子 宮 が ん 検 診	28,600	28,166	-434	98.5%
	5 乳がんマンモグラフィ検診	22,400	21,007	-1,393	93.8%
	6 乳 が ん エ コ ー 検 診	7,400	6,776	-624	91.6%
	8 肺 が ん 検 診	31,700	33,148	1,448	104.6%
	9 神奈からがんをなくす会	100	90	-10	90.0%
	10 一 般 健 康 診 断	257,000	258,756	1,756	100.7%
	11 特 殊 健 康 診 断	82,500	86,222	3,722	104.5%
	12 精 密 総 合 健 診	8,800	8,350	-450	94.9%
	13 健 康 づ く り 事 業	100	164	64	164.0%
	14 歯 科 健 康 診 査	3,100	3,520	420	113.5%
	15 そ の 他 の 健 診 検 査	32,900	31,383	-1,517	95.4%
	16 保 健 相 談	600	688	88	114.7%
	17 作 業 環 境 調 査	2,300	2,320	20	100.9%
	学校保健	18 心 臓 病 検 診	103,800	103,460	-340
19 腎 臓 病 ・ 糖 尿 病 検 診		682,100	675,675	-6,425	99.1%
20 貧 血 検 査		700	458	-242	65.4%
21 そ の 他 の 検 査		0	0	0	
母子保健	22 先 天 性 代 謝 異 常 等 検 査	53,100	54,688	1,588	103.0%
	23 拡 大 ス ク リ ー ニ ング 検 査	22,000	23,544	1,544	107.0%
環境保健	24 簡 易 専 用 水 道 検 査	1,600	1,618	18	101.1%
その他	25 依 頼 検 査	3,700	4,058	358	109.7%
	26 健 康 教 育	280	280	0	100.0%

別表 2

令和4年度 調達機器等一覧

(単位：円)

区分	品名	数量	金額
建物付 属設備	集団検診センター本館エレベーター改装	一式	12,000,000
	集団検診センター新館給水設備配管一部交換	一式	1,189,928
	集団検診センター新館屋上空調機用動力盤外装等更新	一式	736,000
	その他	12	4,231,333
	小計		18,157,261
車両運 搬具	胃部検診車 カメラヘッド交換	一式	2,700,000
	胃部検診車 X線管交換	一式	2,080,000
	業務用車両	1	1,289,845
	その他	5	4,911,455
	小計		10,981,300
器具備 品	中央診療所ICT健診タブレット端末更新	一式	16,372,500
	高速プリンター更新	2	14,034,000
	文書ファイルサーバー更新	一式	7,591,800
	ICT健診サーバー更新	一式	5,310,000
	その他	47	24,227,207
	小計		67,535,507
検診器 具	超音波診断装置	1	2,740,000
	巡回検診RISノートパソコン	2	997,000
	その他	5	1,787,640
	小計		5,524,640
検査器 具	拡大スクリーニング検査装置	一式	12,900,000
	多機能心電計	4	8,200,000
	眼底カメラ	2	4,821,000
	マスクフィットテスター	1	1,358,000
	その他	9	4,105,470
	小計		31,384,470
ソフト ウェア	母子保健スクリーニングシステム改修	一式	8,940,000
	電子カルテシステム更新	一式	5,046,000
	ICT健診サーバー更新プログラム等	一式	3,760,000
	その他	11	4,920,000
	小計		22,666,000
合計			156,249,178